

三角山巡検

三角山って何？

三角山とは、標高 311.3m の安山岩でできた山である。1900 年代はスキー場として栄えていたが、その後の宅地化や、採石場として使われ始めるようになってからゲレンデは消滅してしまった。現在は採石をやめたが、まだ完全に自然は回復していない。



① 山の入り口付近の様子

入り口付近には、ニリンソウが咲いていた。ニリンソウは、4月から6月の間に北海道から九州に咲く多年草である。高さは15~30cmくらいと小柄である。しかし、ニリンソウの若葉はヤマトリカブトという猛毒の植物にそっくりなので、注意してほしい。



ニリンソウ



ヤマトリカブト

② 山道を登っている最中の様子

山道には2種類のタンポポが咲いていた。セイヨウタンポポとエゾタンポポである。ではこの二つのタンポポはどうやって見分けるのか。



エゾタンポポ

・外総ほう片が上向き



セイヨウタンポポ

・外総ほう片が下向き

このように外総ほう片の向きによって見分けることができる。

③ 砕石場跡の様子



採石場には、柱状節理という六角柱状の部分があった。ここは露頭という岩石が直接地表に現れた場所で、砕石をした証拠となっている。柱状節理とは、マグが地面を流れて固まった直後に熱い溶岩流が流れて形成されたものであり、ちなみに左の写真はその中でも放射状節理である。

感想

三角山巡検を行う前までは、三角山はただの山だと思っていた。しかし、人間の自己中心的な考えにより、余儀なく自然環境が変化してしまうことがわかり、人間と自然の共生難しいものだと感じた。他の山の成り立ちも見てみたい。

引用

①wikipedia 三角山 (札幌市) <https://ja.wikipedia.org/> (2015/6/16)

②、③、④、⑤みんなの花図鑑 <http://minhana.net/> (2015/06/16)